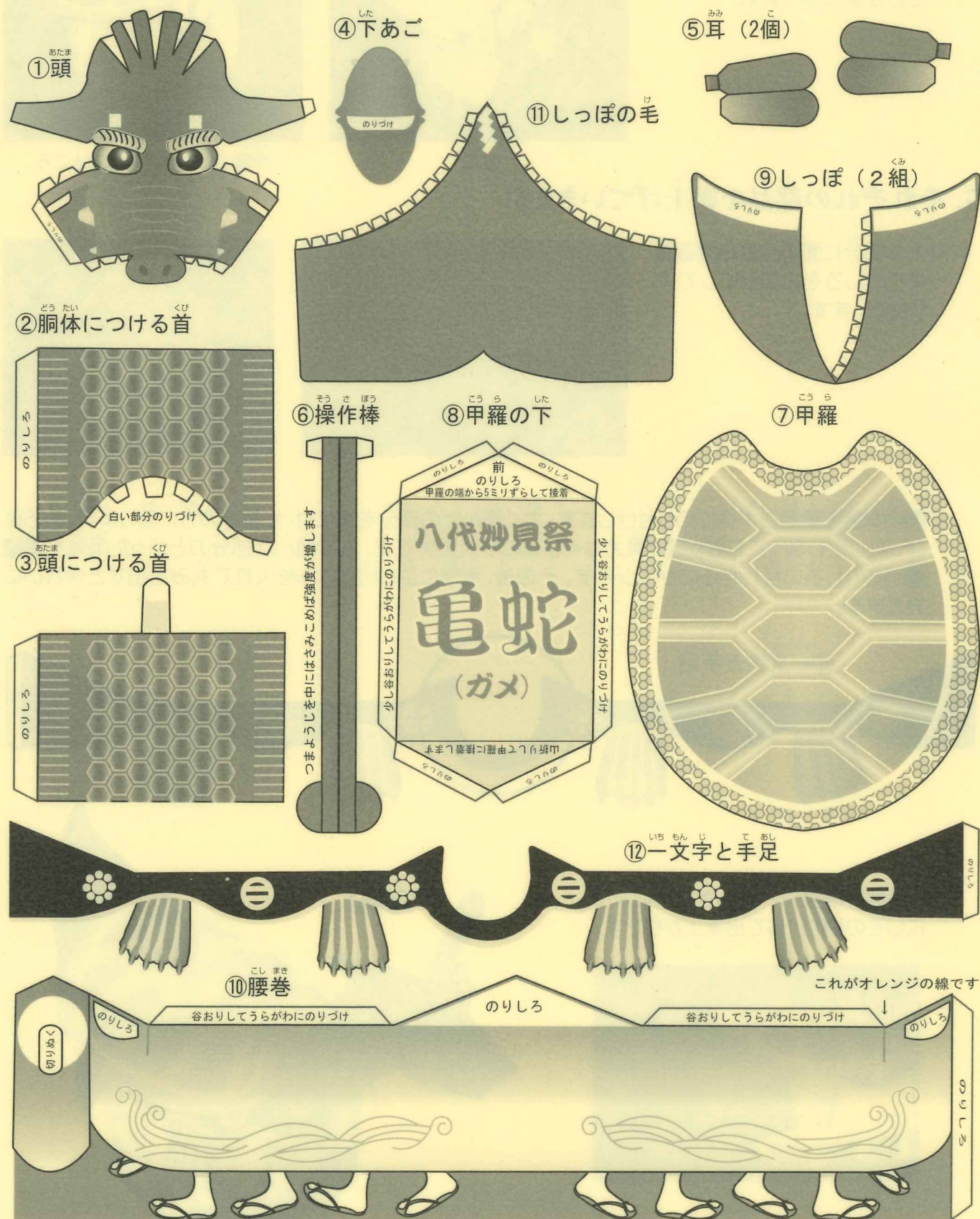


◆本物のガメにもっと近づきたい人は…

- ◎足の部分を切り取って四隅に棒を差し込むと実際のガメが休憩している時と同じようになります。
- ◎尻尾の毛に細かく切り込みを入れると、もっと本物らしくなります。

◆部品の名前がわからなくなったら、下の図を参考にしてください。



足を見せたくない場合は灰色の部分からカットしてください

# ペーパークラフト 八代妙見祭の亀蛇の作り方

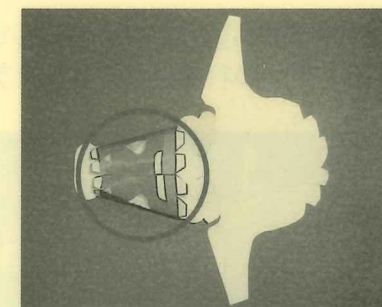
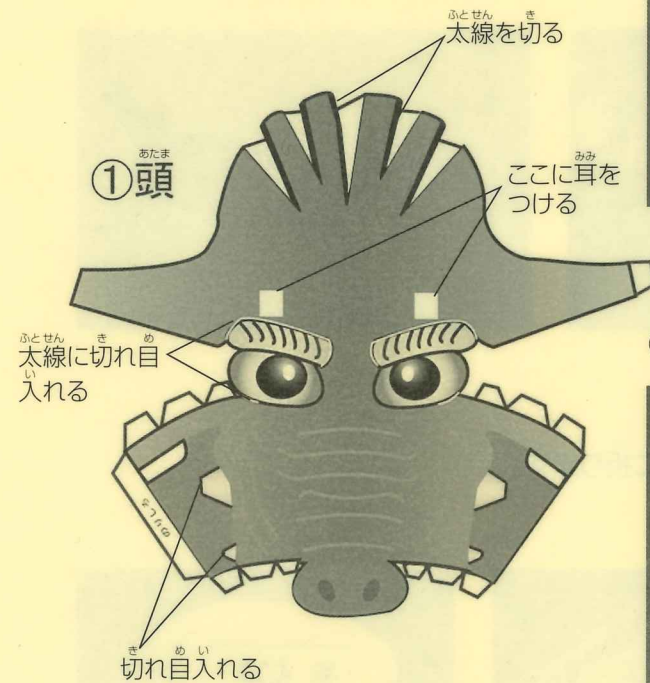
《はじめに》

- ・各部分を切り抜く前に、部品の番号と名前を裏に書いておくとわかりやすいです。
- ・はさみとカッターは切る部分に応じて使い分けると作業がしやすくなります。
- ・紙が少し厚いのでペーパークラフト用の接着剤を使った方がいいでしょう。

1. 頭を作ります

◎まず、①頭の目とまゆ毛の黄色い線に切り込みを入れます。次に図の太線に切り込みを入れます。キバにも切り込みを入れておきます。

◎①頭を組み立てていきます。まず口の部分、次に鼻の部分のり付けします。

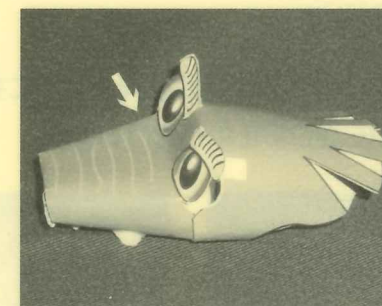


口の部分

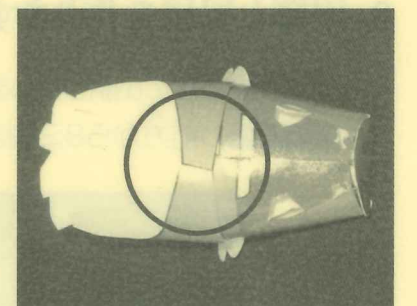


鼻の部分

◎目とまゆを起こし、あごの部分のり付けします。



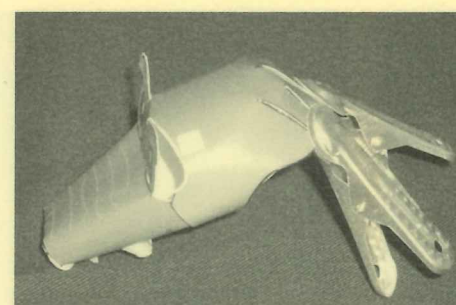
矢印の部分を押すと目とまゆが立ち上がります



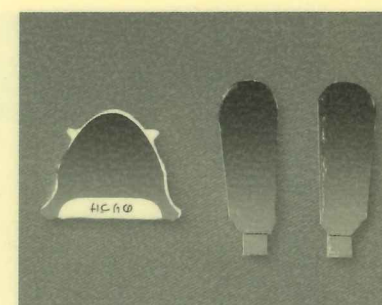
あごの部分

◎①頭の後ろを丸めるようにしてのり付けします。のりが乾くまで手で押さえておくか、洗濯バサミなどではさんでおくといいでしょう。

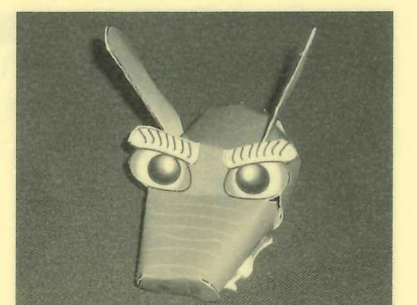
◎④下あごと⑤耳(2個)はのりを付けて半分に折ります。その後それぞれ所定の場所に両耳をつけます。



頭の後ろ部分を洗濯バサミではさんでいるところ



半分に折った下あごと耳



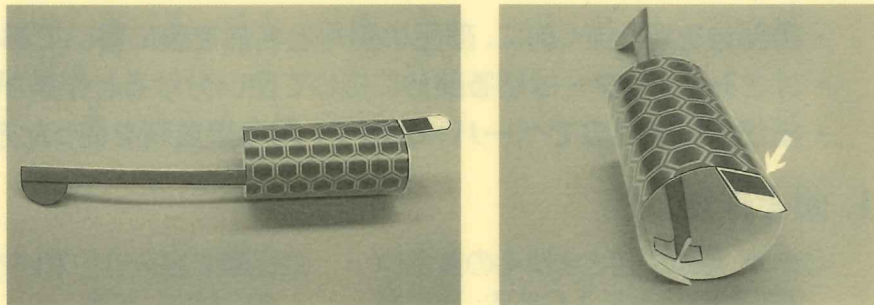
耳を付けたところ

## 2. 首を作ります

◎②胸体につける首と③頭につける首を丸めてのり付けします。②は少しのりしろを多めにしておき、小さめに作っておくと③と一緒にした時うまくはまります。

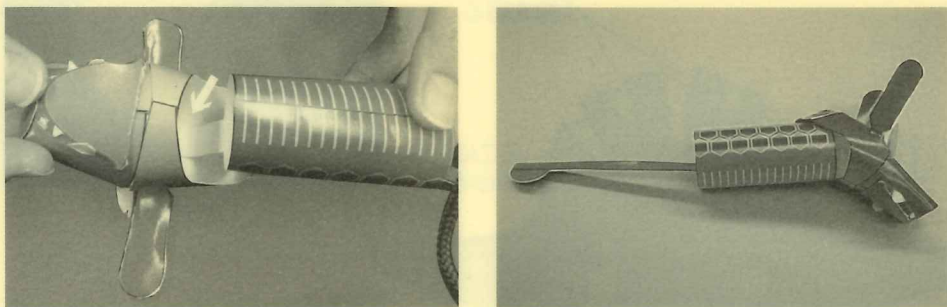
◎⑥操作棒(首を伸び縮みさせる棒)の裏にのり付けして半分に折ります。中に厚紙などを入れて補強すると伸び縮みさせやすくなります。

◎③頭につける首の内側の下の方に⑥操作棒をのり付けします。矢印の部分が前になります。



◎①頭に③頭につける首を取り付けます。③の青色の細長い部分の先の部分(白いところ)だけにのり付けて頭につけます。完成すると頭がゆるようになります。

※矢印の部分を細長い棒などで押さえると、のり付けがしやすくなります。



## 3. 甲羅と尻尾を作ります

◎⑦甲羅は縦に山折りにします。⑧甲羅の下は写真のように折ります。

◎⑦甲羅の前方から8ミリほど後ろに⑧をのり付けします。

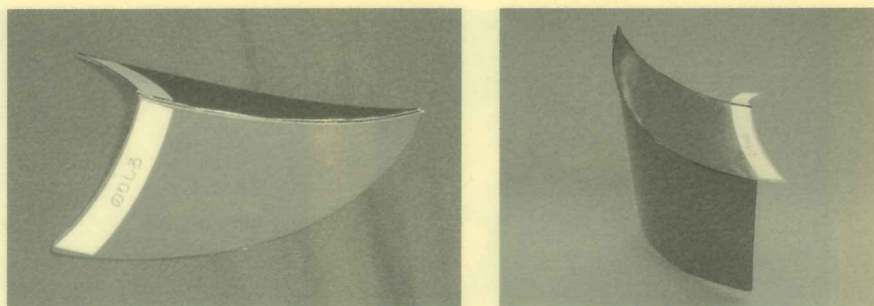


⑦甲羅

⑧甲羅の下

⑦に⑧を付けたところ

◎尾の部分を作ります。⑨しっぽと⑩しっぽの毛はそれぞれカーブののりしろ部分をきれいに切っておくと美しい形になります。



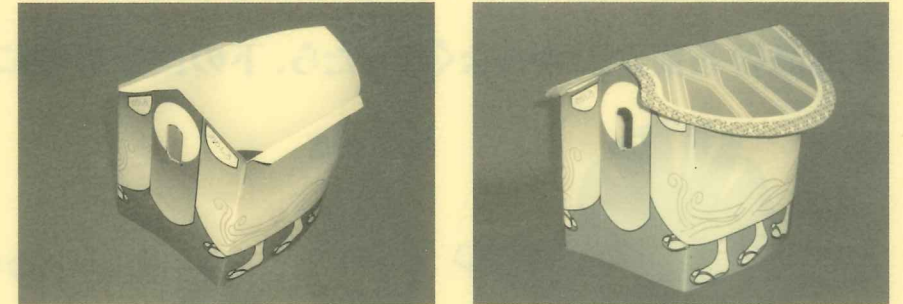
⑨しっぽをのり付けたところ

⑨に⑩を取り付けたところ

## 4. 腰巻を作ります

◎⑩腰巻の「切りぬく」と書かれた部分を切り抜きます。オレンジの線の部分を軽く折り、丸めるようにしてのり付けします。

◎甲羅の下に⑩腰巻をのり付けします。切り抜いて穴をあけた方が前になります。

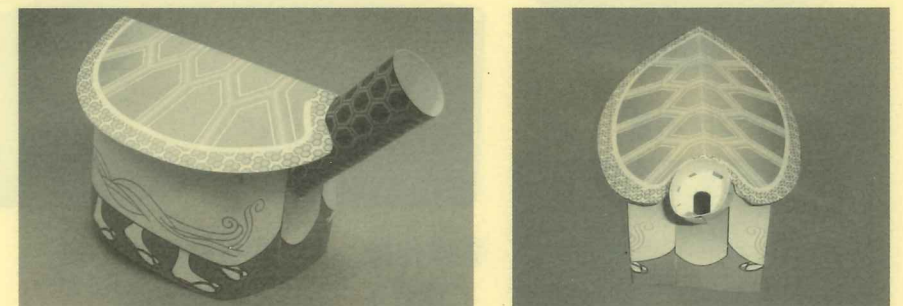


腰巻

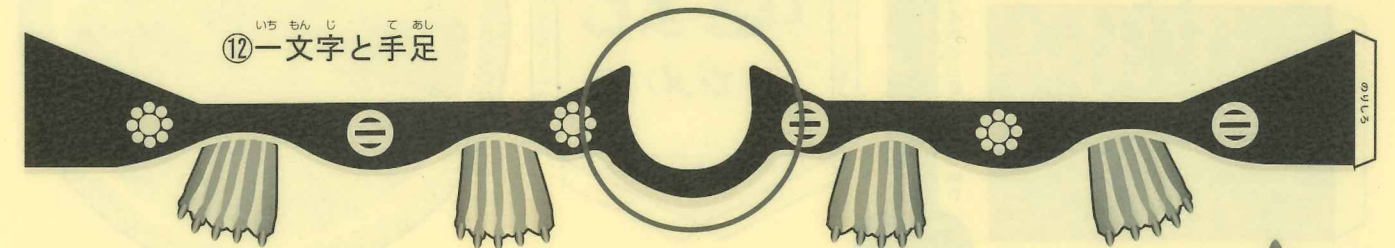
甲羅に腰巻を取り付けたところ

## 5. それぞれの部品を組上げていきます

◎本体部分に②胸体につける首ののりしろを山折りにしてのり付けします。



◎⑫一文字と手足を本体にのり付けします。丸で囲んだ部分を先に付け、後ろの方に回します。後ろはぴったり合わなくてもしっぽで見えなくなるので大丈夫です。丸で囲んだ部分の両端を⑩腰巻ののりしろに合わせるのがコツです。その後、手足に少し切り込みを入れて丸みを出すときれいに見えます。



◎しっぽを甲羅の内側に差し込むようにしてのり付けして出来上がりです。

完成!

